



とうきょうプレイデー設立趣旨文

こどもは遊ぶ、おとなも遊ぶ。



「あそぶ」を祝おう！とうきょうプレイデー

プレイデーおめでとう！

心の中がたまらなくワクワクしちゃう。それが「あそぶ」ということ。
子どもにとってあそぶことは、さまざまな世界につながる魔法のトンネル。

生きるためのエネルギーと学びがたくさん詰まっています。

今日は、そんな「あそぶ」ことをお祝いし、大人の人もいっしょに大いに楽しもう！



「遊び」が社会を育てる

「遊び」がない社会というものを想像してみてください。何か薄暗いモノトーンのイメージで、誰の顔にも笑顔はありません。静寂に包まれ、人と話すこともないのかもしれませんが、効率だけが求められ、チャップリンの映画「モダンタイムス」の1シーンのような世界かもしれません。

本来、子どもたちは、遊びの世界に生きていると言っても過言ではありません。そこにはカラフルな明るいイメージで笑い声が響いています。子どもは遊ぶことで健やかに心も身体も成長していきます。他者と関わる中で、自分が自分らしくいてよいということを知ると同時に、相手を思いやる心も生まれます。地域コミュニティとつながるきっかけともなり、社会性も獲得します。これらはみな、子どもたちの生きる力に直接つながっていきます。

友だちと遊ぶために予約？

ところが、今の子どもたちを取り巻く環境は、遊びに最も大切な要素である時間・空間・中間・隙間の四間（シマ＝テリトリー）が喪失してしまっているのが現状です。時間は細切れになり、子どもが子どもらしくいられる空間はあまりなく、友だちと遊ぶためにさえ予め予約を取らなくては遊べなくなりつつあります。この現状は大人や社会の影響が大きく、子ども自身の力では改善していくことは困難です。

今だからこそ「あそぶ」ことの大切さを考えよう

こうした厳しい状況だからこそ、「あそぶ」を祝う「とうきょうプレイデー」を実施することを決めました。子どもたちの日常生活の中で遊ぶことを大切にしたいと考え、趣旨に賛同した人・団体に参画してもらい、都内で一斉開催するという形をとることにしました。子どもたちが遊ぶこと自体を大人も一緒に遊び、お祝いすることで、すべての人が楽しみや生きるエネルギーを得ることができると思います。それをきっかけに、遊びの大切さが多くの人に理解され社会に広がっていくことを願っています。